

第8回相模原市議会史編さん委員会 次第

令和8年2月26日(木)
各派代表者会議、議員互助会理事会終了後

案 件

- 1 事業の経過報告について ……資料1-1及び1-2

- 2 『相模原市議会史 記述編』執筆要綱（案）について
……資料2-1及び2-2

- 3 原稿作成のワークフローと、編さん委員会での今後の審議事項について
……資料3-1及び3-2

- 4 編集会議委員の任期の更新について ……資料4

1 事業の経過報告について

(1) これまでの検討事項と取組の概要

ア H31年度以降の主な経過

時期	経過
平成31年2月	相模原市議会史編さん要綱を策定(編さん委員会の設置)
令和元年6月～ 令和6年5月	編さん委員会(第1回～第5回) (編さん対象年度や、完了時期等の随時見直し)
令和6年12月23日	第6回 編さん委員会を開催 編さん要綱の一部改正(大学への委託など、役割分担の見直し)、 事業フレーム等について決定
令和7年 2月 6日	第1回 編集会議を開催 委員への事業概要の説明及び研究委託等についての検討
令和7年 5月29日	第7回 編さん委員会を開催 編さん要綱の一部改正(記述編の対象範囲など)、 議会史の研究委託先及び構成、情報発信などについて決定
令和7年10月10日	相模原市議会史の編さんに係る調査研究委託契約の締結 (3ページ)
令和7年10月25日	議会史編さん事業説明会を開催 (4ページ)
令和8年 1月 7日	第2回 編集会議を開催 (5ページ)

イ 相模原市議会史(昭和54年度～平成30年度)の体系

		編さんの対象期間	ページ数(目安)	発行時期
資料編	Ⅲ	昭和54年4月～平成31年3月	検討中	令和12年度 発行を目標 とする
記述編	Ⅲ	昭和54年4月～平成11年3月 (5期 20年)	約 1,300～ 1,500(A5換算)	
	Ⅳ	平成11年4月～平成31年3月 (5期 20年)	約 1,300～ 1,500(A5換算)	
年表編	Ⅱ	昭和54年4月～平成31年3月	検討中	

※記述編については「市議会史編さん要綱」第7条に基づき、大学への委託により原稿案を作成する。

資料編、年表編については議会局で作成。

※令和2年以降の新型コロナウイルスに係る対応については、記述編Ⅳの巻末などで簡潔に触れる。

ウ 情報発信について

- 市議会だより(230号<令和7年8月1日発行>)に記事を掲載
- 議会ホームページに会議資料等をはじめとした議会史情報を掲載
- 議会史及び関連図書のフロア展示を実施(議会ホームページや SNS で情報発信)

【市議会だより(230号<令和7年8月1日発行>7面)掲載記事】

● 議会史の編さんに取り組んでいます!

相模原市議会では、昭和54年4月から平成31年3月までの市議会の流れをまとめた「相模原市議会史」の編さん作業に取り組んでいます。令和7年2月には、学識者5名で構成する「編集会議」を設置して1回目の会議を開催し、専門的な立場から様々なご意見をいただきました。また、議長や副議長などの議員で構成する「編さん委員会」も設置しており、作業の進捗の確認や、今後の進め方などの協議を行っています。詳細は、市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

Q 相模原市議会史ってなに?
A 市政の動きや国内外の情勢を踏まえながら、相模原市議会の活動の流れをまとめたものです。相模原市では過去に、相模原市議会史のほか、相模原市史や相模原市教育史を発刊したことがあります。

Q 過去に発刊した相模原市議会史は、いつの時代のことが書かれているの?
A 明治22年から昭和54年3月までの市議会の流れについて、平成8年までに5冊(資料編2冊・記述編2冊・年表編1冊)を発刊しました(資料編は昭和16年以降のみ)。当時も学識者が執筆し、読み応えのあるものになっています。

Q 相模原市議会史や相模原市史は、図書館で読むことはできるの?
A 市内の図書館に配架しています。配架場所の詳細は、図書館ホームページで検索することができます。ぜひ、議会史の扉を開いてみてください!

編さん委員会の様子(5月29日)


相模原市議会史

例えば、記述編Ⅰの906ページには、昭和29年の「相模原町を相模原市とすることの申請」議案をめぐる質疑や討論の様子が記述されています。

相模原市議会史

検索

ホームページ



【議会史 フロア展示(R7年7月~10月実施)】 ※R8年2月からリニューアルして実施中



(2) 相模原市議会史の編さんに係る調査研究委託契約について

ア 契約の概要

【契約日】 令和7年10月10日

【委託先】 学校法人明治大学

【契約金額】 3,000,000円

【研究期間】 令和7年10月10日から令和8年3月31日まで

※契約は議会史（昭和54年度～平成30年度）の原稿完成まで継続します。

（参考）R8年度予算要求額 議会史研究委託料：6,000,000円

◎委託研究計画書 一部抜粋

【研究目的及び内容】

戦後の昭和29年に人口約8万人で発足した相模原市について、人口40万人を超えた昭和50年代以降を対象に、昭和の後期から平成への変遷とともに展開された市議会の活動の歴史について調査研究をおこなう。また、研究の成果は、将来を担う世代への「主権者教育」にも活用することを目指す。

【研究担当者】

明治大学自治体政策経営研究所（研究代表者：牛山 久仁彦 政治経済学部専任教授）

【研究実施項目】

- ①相模原市議会の活動記録（昭和54年度～）の収集・分析
- ②相模原市議会史の執筆
- ③調査研究実施報告書の作成

イ その他

調査・研究に使用する資料は、12月に大学へ提供済み。（資料1-2参照）
追加で必要な資料等があった場合には、大学と調整し、提供する予定。

(3) 相模原市議会編さん事業説明会(令和7年10月25日開催)について

ア 趣旨

研究・執筆者や事業関係者が、編さん事業や編さんの対象となる時代の相模原市の議会の動向などについて、より深く理解して頂くために実施。

イ 内容

- ① 事業実施者・関係者、執筆者の紹介(下表)
- ② 相模原市議会史編さん事業概要について
- ③ 40年間の相模原市の変遷について
 - I 変化を続けてきた相模原市の概要
 - II 平成時代の相模原市議会回想談…(元市議会議長)佐藤賢司氏、岸浪孝志氏
- ④ 研究・執筆者等意見交換

《当日の様子》



(事業説明など)



(元議長からのお話)

相模原市議会史 研究・執筆者名簿

(敬称略)

	氏 名	所 属 等
1	牛山 久仁彦 <small>うしやま くにひこ</small>	明治大学 政治経済学部 教授
2	前田 成東 <small>まえだ しげと</small>	東海大学 政治経済学部 教授
3	高橋 幸子 <small>たかはし さちこ</small>	西武文理大学 看護学部 教授
4	中村 稔彦 <small>なかむら としひこ</small>	長野県立大学 グローバルマネジメント学部 准教授
5	山岸 絵美理 <small>やまぎし えみり</small>	大月市立大月短期大学 准教授
6	黒石 啓太 <small>くろいし けいた</small>	北九州市立大学 法学部 准教授
7	三浦 正士 <small>みうら まさし</small>	長野県立大学 グローバルマネジメント学部 講師
8	三上 真嗣 <small>みかみ まさつぐ</small>	長野県立大学 グローバルマネジメント学部 講師
9	吉澤 佑葵 <small>よしざわ ゆうま</small>	公益財団法人 日本都市センター 研究員

(4) 第2回相模原市議会史編集会議(令和8年1月7日開催)の報告について

ア 実施内容

- ① 議会史編さん事業の経過報告
 - I 委託契約について
 - II 執筆に係る状況について
- ② 議題
 - I 『相模原市議会史 記述編』執筆要綱(案)について
 - II 今後の協議事項について
- ③ その他
編集会議委員の任期の更新について



(編集会議の様子)

(参考)編集会議 委員一覧

職	氏名	所属等	当日の出欠席
副座長	牛山 久仁彦	明治大学 政治経済学部 教授	出席
座長	江藤 俊昭	大正大学 地域創生学部 教授	出席
	奥 真美	東京都立大学 都市環境学部 教授	出席
	隅河内 司	田園調布学園大学 人間福祉学部 教授	欠席
	前田 成東	東海大学 政治経済学部 教授	出席

(氏名は50音順)

イ 議題の結果

- ① 『相模原市議会史 記述編』執筆要綱(案)について【資料2-1、2-2】 ←次第の2
『相模原市議会史 記述編』執筆要綱については、編集会議で出た意見を踏まえ、一部修正し、編さん委員会に諮る。
「用字用語のきまり」は、議会局で原案が完成次第、編集会議に確認をとる。
- ② 今後の協議事項について ←次第の3
「議会史記述編 原稿作成ワークフロー」【資料3-1】について、了承。
原案を編さん委員会に諮る。

ウ 編集会議委員の任期の更新について【資料4】 ←次第の4

現在の任期が令和8年3月31日までのため、任期2年で更新を依頼し、了承を得たもの。

一次提供資料：12月上旬に発送
二次提供資料：12月下旬に発送

資料1-2

議会史執筆に係る提供資料一覧

資料名	内容	形式	提供時期分類	備考
相模原市議会史 記述編Ⅰ	前回出版したもの（主に、M22年からS38年度までの年度毎に市議会の活動などを記述）	紙	一次提供	
相模原市議会史 記述編Ⅱ	前回出版したもの（主に、S39年度からS53年度までの年度毎に市議会の活動などを記述）	紙	一次提供	
相模原市議会史 資料編Ⅰ	前回出版したもの（主に、市議会の活動に関する資料、法規、議決事項、諸統計など）	紙	一次提供	
相模原市議会史 資料編Ⅱ	前回出版したもの（主に、S16年度からS53年度までの議会記録の資料。諸名簿、選挙、主要問題、施政方針、統計など）	紙	一次提供	
相模原市議会史 年表編	前回出版したもの（M22年からS53年度まで）	紙	一次提供	
相模原市議会 年表 ～議会史の編さんに向けて～	政策調査課職員作成：年表（主にS54以降の市議会の動き、相模原市内、国内のできごとを取りまとめたもの）	紙	一次提供	
会議録【会議録検索システム】	会議録を閲覧するためのシステム（検索機能付き）	その他	二次提供	【会議録検索システム】 リンク、アカウントID・PWを提供
相模原市と米軍基地	市発行：本市と米軍基地の取り巻く諸問題	PDFデータ	一次提供	
合併の記録	市発行：相模原市、城山町、津久井町、相模湖町、藤野町の合併までの経緯を取りまとめたもの	紙	一次提供	
議案議決事項(含議定、委員会、諮問事項、県知事提出議案)	S54年度からH30年度までの議決事項の一覧	Excelデータ	一次提供	
意見書・決議等(一覧)	S54年度からH30年度までの意見書・決議等の一覧	Excelデータ	一次提供	
意見書・決議等(本文)	上記意見書・決議等の本文	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-1新人口及び世帯数	相模原市の統計資料	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-2新地区別、出張所人口及び世帯数	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-3新人口の自然動態	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-4新人口の社会動態	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-5新年齢別人口（国勢調査報告）	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-6新昼間人口	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-7新産業別15歳以上就業者数（国勢調査報告）	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-9新外国人住民人口	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 3-2新職員定数	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 4-1一般、特別会計決算	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 4-2財政状況の推移等	同上	Excelデータ	一次提供	
請願・陳情	S54年度～H30年度までの請願・陳情の一覧	Excelデータ	一次提供	
傍聴者数	S54年度～H30年度までの傍聴者数（本会議と委員会）	Excelデータ	一次提供	
議会事務局の変遷	議会局の組織・職員数の変遷	Excelデータ	一次提供	
県六市競輪組合議会議員	S54年～H13年までの神奈川県六市競輪組合議会議員一覧	Excelデータ	一次提供	
高相地区農業共済事務組合議員	S62年～H14年までの高相地区農業共済事務組合議員一覧	Excelデータ	一次提供	
選挙一覧	S54年度～H30年度までの市長・市議会議員の選挙の投票状況一覧	Excelデータ	一次提供	
選挙結果	S54年度～H30年度までの市長・市議会議員の選挙結果一覧	Excelデータ	一次提供	
編年資料（市内及び国内のうごき）	S54年度～H30年度までの年表（①市内・国内外の出来事の年表、②社会・国際関係の出来事の年表）	Excelデータ	一次提供	
会議録目次（本会議、臨時会のみ）	S54年～H31年までの市議会会議録の目次部分を抽出	PDFデータ	一次提供	
東日本大震災1年間の取組	市発行：本市の東日本大震災後における取り組み記録	PDFデータ	一次提供	
政令指定都市移行10年の歩み（リーフレット）	政令市移行10周年の記念で作成した議会パンフレット	紙	一次提供	

議会開催日数・議案等審議件数	S54～H30年度の市議会開催回数・会期日数・開議日数、議案等審議及び結果件数一覧（暦年で区切り）	Excelデータ	二次提供	
議案等内容別件数	S54～H30年度の市議会議案等及び結果件数一覧（暦年で区切り）	Excelデータ	二次提供	
請願・陳情処理件数	S54～H30年度の請願・陳情の処理件数及び処理内容の内訳	Excelデータ	二次提供	
市議会議員	S54年度～H30年度の市議会議員一覧	Excelデータ	一次提供	
歴代議長、副議長	S54年度～H30年度の歴代議長・副議長一覧	Excelデータ	一次提供	
常任委員会委員	S54年度～H30年度の常任委員会委員一覧	Excelデータ	一次提供	
特別委員会委員	S54年度～H30年度の特別委員会委員一覧	Excelデータ	一次提供	
議会運営委員会委員	S54年度～H30年度の議会運営委員会委員一覧	Excelデータ	一次提供	
市長所信表明・施政方針	S55年～H31年までの市長の所信表明・施政方針の本文	Wordデータ	一次提供	
相模原市議会だより	市議会広報紙「さがみはら市議会だより」の縮刷版（～H16まで）	紙	一次提供	
相模原市議会だより	市議会広報紙「さがみはら市議会だより」の縮刷版（H17～H30まで）	PDFデータ	二次提供	
私たちの相模原 平成30年度版 市立中学校社会科副読本	相模原市の歴史が書かれた教育委員会作成の副読本	PDFデータ	二次提供	
相模原市議会Photo Library（議会史展示用スライド）10分でたどる80年の歴史	議会議事室前で行った議会史展示のために作成した写真資料。歴代議員の集合写真や視察等の活動写真をピックアップしている。	その他	二次提供	PowerPoint
政令指定都市へのあゆみ	市発行：政令指定都市に移行するまでの市のあゆみ	PDFデータ	二次提供	
一般質問	S54～H30年度の議員の一般質問内容（質問事項のみ）	Excelデータ	二次提供	
常任委員会開催日数	S54～H30年度の常任委員会開催日数（暦年で区切り）	Excelデータ	二次提供	
特別委員会開催日数	S54～H30年度の特別委員会開催日数（暦年で区切り）	Excelデータ	二次提供	
常任委員会の変遷	S54～H30年度の常任委員会の設立及び所管事項の変遷	Excelデータ	二次提供	
特別委員会設置の変遷	S54～H31年度の常任委員会の設立の変遷（期間、委員数等）	Excelデータ	二次提供	
会派所属議員推移	S54年度～H30年度の会派の人数や所属議員をまとめたもの	Excelデータ	一次提供	
市三役	S54～H30年度の歴代市長、助役（副市長）、収入役の一覧	Excelデータ	二次提供	
行政委員会委員等	S54～H30年度に議会から選出された各委員会委員の一覧	Excelデータ	二次提供	

『相模原市議会史 記述編』執筆要綱(案)

1 編集方針

- ・相模原市民の幸せの実現に努めた先人議員の活動をわかりやすく伝える議会史を目指す
- ・国内外の社会情勢や地方自治制度の変遷を踏まえ、専門的見識と学術的妥当性を担保した議会史を目指す
- ・相模原市が直面した行政課題と議会の対応を多面的に描き、「主権者教育」に資する議会史を目指す
- ・客観性と公平性を確保して、未来へつなぐまちづくり指針となる議会史を目指す

2 記述対象年度

記述編 Ⅲ

昭和 54 年度(昭和 54 年 4 月 1 日)から平成 10 年度(平成 11 年 3 月 31 日)まで5期 20 年

記述編 Ⅳ

平成 11 年度(平成 11 年 4 月 1 日)から平成 30 年度(平成 31 年 3 月 31 日)まで5期 20 年

3 構成

記述編 Ⅲ

昭和 54 年度から昭和 57 年度までの 4 年間を「第 9 編」
昭和 58 年度から昭和 61 年度までの 4 年間を「第 10 編」
昭和 62 年度から平成 2 年度までの 4 年間を「第 11 編」
平成 3 年度から平成 6 年度までの 4 年間を「第 12 編」
平成 7 年度から平成 10 年度までの 4 年間を「第 13 編」
として編を区切る

記述編 Ⅳ

平成 11 年度から平成 14 年度までの 4 年間を「第 14 編」
平成 15 年度から平成 18 年度までの 4 年間を「第 15 編」
平成 19 年度から平成 22 年度までの 4 年間を「第 16 編」
平成 23 年度から平成 26 年度までの 4 年間を「第 17 編」
平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年間を「第 18 編」
として編を区切る

その他、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大への対応に関わる議会活動(令和2年~令和5年)を簡潔に記載する。

見出し立て

第〇編 〇〇(界紙)

第〇章 〇〇(改頁)

第〇節 〇〇(追い込み)

I 〇〇〇〇(追い込み)

小見出し(割り2行ゴシック見出し 6文字以上折り返し均等割り)

4 執筆資料

執筆にあたっては、基本的には提供する資料をもとに原稿を作成する。

資料は、別添「提供資料一覧」を参照。

5 総則

①A5判、9pt、34字詰め、26行どり(1頁884文字)、横組み

②文体は、常体「～である体」とする。

③敬称・敬語は原則使用しない。

④内容現在の区切りは年度(〇年4月1日～〇年3月31日)とする。ただし、平成26年度以降は通年議会となるため、1月を始点として考えるものとする。

⑤地名

・歴史的地名はその下(次)に()をして現市町村名等を記す。同一の歴史的地名が繰り返し使われる場合は()内の現市町村名の表示は、節ごとの初出に限る。

・津久井4町の表記は以下のとおりとする。

合併前(城山町、津久井町、相模湖町、藤野町)

合併後(旧城山町、旧津久井町、旧相模湖町、旧藤野町)

⑥条例名等

・法律、条例、規則、政党及び会派等を略記する場合は、節ごとに初出の名称の下(次)に()をして略称を記す。

・条例等が新設の場合は「制定」と表記し、改正の場合は「〇〇条例改正」と統一する。

⑦引用文

・原則、原典どおりとする。漢字、仮名遣いは、常用漢字および現代仮名遣いに換置。

・資料や図書・論文を直接引用して記述する場合は、引用部分は「」で掲出。

・改行の引用は、2字下げとし、本文より1pt小さくする。

・引用文の出典、新聞名を引用末尾に明示する。

論文名、公共機関所蔵資料、雑誌名、紀要名は「」、書籍名は『』

・資料引用文等の典拠の表示方法

公共機関所蔵史資料の場合 (「神奈川県立図書館所蔵文書」)

個人所蔵史資料の場合 (「神奈川県尾崎家文」)

新聞の場合 (「神奈川新聞」平11.3.11)

既刊本より引用の場合 (『相模原市議会史 資料編Ⅱ』)

観光図書より引用の場合 (『合併の記録』)

・参考文献は巻末にまとめて掲示。

⑧図・表・写真

・図・表の掲示は、編ごとの通し番号を付す。

(例) 第9編記述内で1つめの図… 図9-1

第13編記述内で5つめの表… 表13-5

・写真はキャプションのみとする。

6 細則

・表記、用字用語

別途「用字用語のきまり」を作成する。

附 則

この要綱は、令和8年〇月〇日から施行する。

用字用語のきまり（表記の統一基準）

総則

- ◆本文中は、常用漢字（平成 22 年 11 月 30 日内閣告示第 2 号「常用漢字表」）を用いる
- ◆常用漢字表に示されている次の 5 字は、許容の異体字（略字）を用いない
〈餌 = ×餌〉〈餅 = ×餅〉〈遡 = ×遡〉〈遜 = ×遜〉〈謎 = ×謎〉
- ◆熟語の表外字は開いて漢字仮名混じり表記とする。ルビは用いない
〔例〕 あっ旋 改ざん 橋りょう 平たん ばく大 まん延 り災者
- ◆常用漢字表に使える漢字があっても、細則で規定するのは仮名を用いる
⇒ 品詞規定
- ◆本文中は、現代仮名遣い（昭和 61 年 7 月 1 日内閣告示、一部改正 平成 22 年 11 月 30 日内閣告示）による
- ◆本文中の送り仮名は、送り仮名の付け方（昭和 48 年内閣告示第 2 号、一部改正 平成 22 年 11 月 30 日内閣告示第 3 号）による。ただし、細則で定める送り仮名の付け方は優先する

細則 品詞規定

◆名詞

- ・連用名詞（動詞の連用形から名詞化）のうち単独で用いる語は、送り仮名を送る
〔例〕 支払い 上がり 当たり「1 反当たり」 おそれ「～となるおそれ」
- ・複合語の連用名詞は接頭の語の送り仮名を省く
〔例〕 打切り 食違い 繰延べ 取決め 取扱い 取消し 払下げ 繰越し
- ・複合語の連用名詞のうち、科目・費目などに使用する場合は、送り仮名を送らない
〔例〕 繰越（金） 借入（金） 積立（金） 払込（金） 払出（金）
- ・形式名詞（軽く意味を添える）は平仮名表記とする
〔例〕 うえ「～するうえで」 うち「～するうちに」 くらい「～に負けないくらいの」
ため「～するために」 とき「～するとき」 とおり「～のとおり」
ところ「～したところ」 もの「～したもの」 わけ「～するわけではない」
- ・頻出語の指定表記
〔例〕 あと（×後、跡、痕、址） 子ども（×こども、子供） ころ・ごろ（×頃）
ゼロ（×ぜろ、0） だれ（×誰） つぎ（×次） なか（×中） 一人ひとり
（×一人一人、ひとりひとり） 我が国（×わが国）
- ・常用漢字表の付表にある熟字訓は、漢字表記する
〔例〕 田舎（いなか） 大人（おとな） 仮名（かな） 昨日、今日、明日（きのう、きょう、あす） 果物（くだもの） 今年（ことし） 素人（しろうと）

梅雨(つゆ) 博士(はかせ) 二十歳(はたち) 上手、下手(じょうず、へた) 最寄り(もより) 木綿(もめん) 行方(ゆくえ)

◆副詞

・原則として、和語は平仮名表記、漢語は漢字表記とする

〈和語〉

〔例〕 あまり(～ない) あらためて いまだ おおむね おそらく きわめて
さまざま さらに すでに すべて ただちに つぎつぎ(と・に)
なかなか ほとんど ますます まったく もっとも もっぱら
ようやく わずか

〈漢語〉

〔例〕 依然(として) 一向に(～ない) 一切 結局 早速 次第に
若干 多分 着々と 特に

〈例外〉

〔例〕 いちいち(「一一」は難読) いっせいに(「一斉〇〇」で熟語を作るときは漢字)
いっそう(名詞「一層」と使い分け) だいぶ(「大分」読み違い防止) ちょう
ど(複数表記から選択) 初めて(複数表記から選択) ついに(「遂」の表外
音訓)

◆動詞

・書き分けのある語は平仮名表記とする。ただし、連用形が単独で用いられる場合(⇒連用名詞)と複合動詞をつくる場合(⇒接頭語、複合動詞)は漢字表記とする

〔例〕 あける(×明ける、開ける、空ける) あげる(×上げる、揚げる、挙げる)
あてる(×当てる、充てる、宛てる) かける(×掛ける、懸ける、架ける)
こたえる(×答える、応える、徹える) たつ(×立つ、建つ、起つ、発つ)
つく(×付く、就く、着く、点く、突く) とる(×取る、採る、捕る、執る、
撮る、獲る、盗る) のぼる(×上る、昇る、登る)
はかる(×図る、測る、計る、諮る) みる(×見る、観る、視る、看る、診る)
わかる(×分かる、解る、判る)

・サ変動詞の「じる・ずる」は「じる」に統一する

〔例〕 案じる 応じる 準じる 生じる 報じる 命じる 論じる

・複合動詞は接頭の語の送り仮名は省かない

〔例〕 当て込む 打ち切る 切り替える 食い違ふ 差し出す 取り扱う
引き上げる 引き継ぐ 持ち越す

・補助動詞(軽く意味を添える)は平仮名表記とする

〔例〕 あげる「～てあげる」(「助けてあげる」)
いう「～という」(「相模原という名前の由来」)
いく「～ていく」(「歩いていく」)(※「いく」「ゆく」は「いく」に統一×「～てゆく」)

くる「～てくる」(「走ってくる」)

みる「～てみる」(「試してみる」)

- ・元の意味から離れた用法の場合は平仮名表記とする

〔例〕 もつ

ア) (元の意) 物理的に物をもつ、所有するなどを表す場合は 漢字表記とする

本を持つ 水筒を持つ 大金を持つ 家を持つ

イ) (転じて) 意識、感情、責任など見えないものを表す場合は 平仮名表記とする

夢をもつ 趣味をもつ かかわりをもつ 旅費は会社がかもつ

はこぶ

ア) (元の意) 物理的に物を動かす、比喩的に移動を表す場合は漢字表記とする

机を運ぶ 患者を運ぶ 足を運ぶ

イ) (転じて) 意識や物事が進むことを表す場合は 平仮名表記とする

審議が予定どおりにはこぶ 話がうまくはこぶ

- ・頻出語の指定表記

〔例〕 ある「ごちそうがある」 いる「兄がいる」 めぎす「頂点をめぎす」

できる「簡単にできる」

◆接続詞

- ・平仮名表記とする

〔例〕 そして および かつ したがって また または もしくは
つづいて ならびに しかし だが ところで ついては もしも

◆接頭語・接尾語

- ・接頭語は平仮名表記とする

〔例〕 さ迷う か細い か弱い お菓子 お粗末

- ・複合動詞(連用名詞)をつくる接頭語は漢字表記とする

〔例〕 食い(食い違う) 切り(切り取る) 取り(取り扱う)

- ・接尾語は平仮名表記とする

〔例〕 神さま 企業ら 議員ら 親密さ 楽しげ 久しぶり 私ども

◆形容詞

- ①語幹が常用漢字の語は漢字表記とする

〔例〕 新しい 美しい 悲しい

- ②語幹が常用漢字外の語は平仮名表記とする

〔例〕 はなはだしい おびただしい

◆形容動詞

- ①語幹が常用漢字の語は漢字表記とする

〔例〕 静か 同じ 奇麗 堂々

②語幹が常用漢字外の語と名詞との使い分けがある語は平仮名表記とする

〔例〕 ばく大 てき面 つまびらか いっぱい

③複合語は接頭語、接尾語のルールに準じる

〔例〕 久しぶり 当たり前

◆代名詞（人称代名詞、指示代名詞）

・人称代名詞は漢字表記とする

〔例〕 私 彼 彼女 僕 君（きみ） 我々

・指示代名詞は平仮名表記とする

〔例〕 あそこ ここ それ どれ

◆助詞、助動詞

・平仮名表記とする

◆固有名詞

・固有名詞に〈相模原市〉〈相模原〉がある場合の扱い

(1) 〈相模原市〉の場合、「市」のみ記載し「相模原」は省略する。

〔例〕 相模原市〇〇〇〇連絡協議会 ⇒ 市〇〇〇〇連絡協議会

(2) 相模原市以外にも同じ組織・団体等がある中で当市のものを指す場合は〈相模原市〉〈相模原〉を記載する

〔例〕 相模原市農業協同組合

・学校・保育園等の名称は次のとおりとする

〔公立〕

相模原市立〇〇小学校 ⇒ 〇〇小学校

相模原市立〇〇中学校 ⇒ 〇〇中学校

相模原市立〇〇保育園 ⇒ 〇〇保育園

神奈川県立〇〇高等学校 ⇒ 県立〇〇高等学校

〔私立〕

私立〇〇小学校 ⇒ そのまま

私立〇〇高等学校 ⇒ そのまま

私立〇〇幼稚園 ⇒ そのまま

・施設名称の新旧名称は次のとおりとする

施設名称の変遷による名称変更は、記述年代の名称を記し、必要に応じて新旧の名称を（ ）に記載する。記載する場合は「：」でつなぎ（現：）（旧：）の形で記載する

〔例〕 宇宙科学研究所（現：JAXA）
市立青少年学習センター（旧：青年の家）

・施設の所在地の記載について

(1) 名称に地域名が付いている場合はそのまま記載する

〔例〕 上溝小学校 橋本保育園
田名公民館 大沼児童館

(2) 名称に地名が付いていない場合は次のルールで記載する

(ア) 所在地が合併前の市内である場合は字名を記載する

〔例〕 青少年学習センター（矢部）
南市民ホール（相模大野）
相模原市民会館（中央）

(イ) 所在地が合併四町である場合は旧町名を記載する

〔例〕 市立公文書館（城山）

◆日時の表記

・年月日

和暦（西暦）年月日 ※「年」は（ ）の後に記載する 西暦は適宜補記する

〔例〕 昭和 60（1985）年 4 月 1 日
平成 1 年（×平成元年）

・年度

毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日まで

※農産物は生産年で表記するため 1 月から 3 月は新年度で表記

・時間

午前・午後表記とする

昼の 12 時は「正午」、夜の 12 時は「午前 0 時」とする

「正午」を「午後 0 時」とはしない

◆数の表記

・1 万以上は、「万、億、兆」の単位語を使用する

〔例〕 3 兆 98 億 2200 万円

・1 万未満は、「十、百、千」は使用せず位取り表記とする。位取りカンマ（,）は入れない

〔例〕 2980 円 3 兆 3498 億 2208 万 3498 円

・小数点は「.」を使用する

〔例〕 99.9 パーセント

・分数は〇分の〇の形で表記する

〔例〕 4 分の 3 10 分の 1

・範囲のある数値、概数は「～」「、」を使用する

文脈中で、その概数数値の重要度で次のように使い分ける

- ① 最も重要度の高い概数は、数値の両方に「億」「万」など単位語・「円」「人」など助数詞を記載

〔例〕 200万円～300万円 4万人～5万人

- ② 重要度の低い概数は、「円」「人」など助数詞は最後に記載

〔例〕 2～3000円 4～500人 ⇔ 2000～3000円 400～500人 ※いずれの表記か要検討

- ③ 最も重要度の低い概数は読点「、」でつないで「円」「人」など助数詞は最後に記載

〔例〕 2、3万円 4、5人

・数詞に付ける「か・ヶ・個・箇」は「か」に統一する

〔例〕 3か所 5か年

◆助数詞

人

- ① 人数を表す場合 → 人

〔例〕 3000人が参加 5人家族

- ② 人数+言葉として定着している語 → 名

〔例〕 3名連記

動物 … 匹、羽、頭

〔例〕 柴犬2匹 スズメ3羽 ウシ5頭

物品、物体 … 個

〔例〕 消しゴム1個 リンゴ3個 湯のみ5個

極めて小さい物品、物体 … 粒 ※「粒」に関しては1～2を漢数字で表記する

〔例〕 真珠3粒 コメ一粒（ひとつぶ） 二粒（ふたつぶ）

形の長い物品、物体 … 本

〔例〕 えんぴつ3本、1本の橋

平面的な物品、物体 … 面、枚

〔例〕 1枚の地図、ざるそば3枚、テニスコート3面

機械・器具・車両・固定した器具など … 台、基、両

〔例〕 カメラ2台、ガスタンク3基、戦車20両

船舶、航空機、人工衛星 … 隻、機

〔例〕 2隻のタンカー、5機の戦闘機、気象衛星1機

手に持って使う器具 … 丁

〔例〕 包丁1丁、

束ねたもの … 把、束 ※「把」に関しては10を漢数字、「束」に関しては1～2を漢数字で表記する

〔例〕 ホウレンソウ2把（にわ）、イネ3束（さんたば） ※十把（じっぱ） 一束（ひと

たば) 二束 (ふたたば)

建物、住居 … 棟、戸、軒

〔例〕工場3棟、停電100戸、商店が3軒

種類の異なる物品、物体を一括して数える場合 … 点、件

〔例〕テレビ、カメラなど10点、土地、建物など5件の登記

◆数字(数値)と言葉の書き分け

ゼロ歳児 → ×0歳児

二十四気、二十四節気 → ×二四気、二四節気、24気、24節気

五十音 → ×50音、五〇音

四捨五入 → ×4捨5入

四十九日法要 → ×49日法要、四九日法要

五十歩百歩 → ×五〇歩一〇〇歩、50歩100歩

20代 30代 → ×二〇代、二十代 三〇代、三十代

20歳代 30歳代 → ×二〇歳代、二十歳代 三〇歳代、三十歳代

20世紀 → ×二〇世紀、二十世紀

1980年代 2000年代 → ×一九八〇年代、一九八十年代 二〇〇〇年代

創立100年 → ×百年 ※行事名、書名では使用可

東京23区 → ×二十三区、二三区

◆主な単位の表記

ポイント … パーセント

長さ … キロメートル メートル センチメートル ミリメートル

速さ … 時速〇キロ メートル毎秒 ノット

重さ … トン キログラム グラム ミリグラム

容積・体積 … キロリットル リットル 立方メートル

面積 … 平方キロメートル 平方メートル ヘクタール アール

工率(仕事率) … キロワット ワット 馬力

光度 … カンテラ

照度 … ルクス

騒音 … デシベル

電流 … アンペア

放射能 … ベクレル

線量当量 … シーベルト

◆動植物の表記

① 原則、カタカナで表記する

〔例〕 サル、ニホンザル シカ イノシシ クマ ツキノワグマ
ハチ、ミツバチ、スズメバチ
カブトムシ クワガタ バッタ
スギ ヒノキ マツ イチョウ
アユ ニジマス イワナ コイ フナ
カラス ハト スズメ トンビ

② 一般名称として定着している動植物名および他の語と付いて複合名詞をつくる場合は、漢字表記とする

〔例〕 人 犬 猫 馬
馬小屋 猿害 鳥網 子犬(猫) 杉並木

③ 混ぜ書きが定着している動植物名はその一般的な表記とする

〔例〕 スギ花粉 イチョウ並木 桜並木 ハト小屋 猿追い イノシシ狩り

付 録 1

◆差別語、不快語

・心身の障害、病気

めくら → 目の見えない人、目が不自由な人・状態

おし → 口のきけない人、言葉が不自由な人・状態

つんぼ → 耳の聞こえない人、耳が不自由な人・状態

びっこ、ちんば、いざり → 足が不自由な人・状態、足に障害のある人

どもり → 発音が不自由な人・状態、吃音

きちがい（気違い）→ 精神障害者

不具、かたわ → 身体障害（者）、体が不自由な人・状態

廃疾、業病、不治の病 … 使用不適切

文盲 → 読み書きのできない人、非識字者

知恵遅れ、低能 → 知的障害、精神遅滞

精神病院 → 精神科（病院）、神経科（病院）

精神分裂病 → 統合失調症

植物人間、植物状態 … 人間を植物にたとえるのは尊厳を損なう表現であり、医学用語であつても使わないように気をつける

らい病 → ハンセン病

アル中 → アルコール依存症

・心身障害に関係する不適切表現

あきめくら ○○キチ（カーキチの類） 片ちんば 片肺飛行 片目が開いた
気違い沙汰 気違いに刃物 自閉症ぎみ つんぼ栈敷 めくら判 めくらめ
つぼう 盲目的

・職業

人夫 → 作業員

土方、土工 → 建設労働者、作業員

炭鋏夫、坑夫 → 炭鋏作業員、坑内員

漁夫 → 漁民、漁船員

馬丁 → 厩務員、馬取扱人

掃除婦（夫） → 清掃作業員

農婦 → 農家の女性、農村の女性

百姓、農夫 → 農民、農家の人、農業従事者

床屋 → 理髪業・店、理容師

バーテン → バーテンダー

サラ金 → 消費者金融
町医者 → 開業医
坊主 → 僧、僧侶、坊さん
小使い → 校務員、学校主事
あんま → マッサージ師・業
労務者 → ○○作業員
こじき → 物乞い
浮浪者 → ホームレス、路上生活者
穩坊 → 火葬場職員

・歴史的記述

女工 → 女性従業員
女中 → お手伝いさん
女給 → ウエートレス、(バー) 従業員、ホステス
産婆 → 助産師
企業戦士 → 猛烈社員

・身分

同和 … 単体では使用しない → 同和教育、同和行政、同和女性問題
特殊部落 → 被差別地区、被差別部落、同和地区
部落 … 使用不適切

・人種、民族、地域

後進国 → 未開国、低開発国、発展途上国
黒んぼ、ニグロ、ニガー → 黒人
毛唐 → 外国人、○○人
外人墓地 → 外国人墓地
肌色 → 薄だいたい、薄いオレンジ
○○族、○○部族 → ○○人、○○民族、○○系 ※中国の民族名は、現地表記に合わせ
「漢族、チベット族、ウイグル族、チワン族、朝鮮族」とする
アイヌ人 → アイヌ (民族)
インディアン … 使用可
インディオ … 使用可
エスキモー → イヌイット (カナダに暮らす人々の場合) ※カナダ以外や全体を示す場
合は、「エスキモー」でよい
ジプシー → ロマ、ロマ族 ※流れ者、放送者の意味で「ジプシー選手」などは不可、た
だし「ジプシー音楽」や音楽題名などは使用可

・アジアと日本

第三国、三国人 … 使用不適切

京城 → ソウル

朝鮮征伐 → 朝鮮出兵

帰化 → 国籍取得

帰化人 → 渡来人

支那そば → 中華そば

支那竹 → メンマ

・子ども

登校拒否児 → 不登校の児童・生徒

父兄会、父母会 → 保護者会

片親、欠損家族 … 使用不適切 ※「ひとり親」「母子家庭、父子家庭」と具体的に書く

私生子、私生児 … 使用不適切

混血児、合いの子 … 使用不適切

連れ子 … 使用不適切

・俗語、隠語、不快語

淫売、売女（ばいた） … 使用不適切

裏日本、表日本 → 日本海側、太平洋側

片田舎 → 田舎

強姦 → 女性暴行、性的暴行、乱暴 ※罪名、容疑名には使用

どさ回り → 地方巡業

足切り → 二段階選抜、門前払い

養老院 → 老人ホーム、老人養護施設、老人介護施設

スキンヘッド → 頭をそり上げた、そり頭

バカチョンカメラ → 簡易カメラ、軽量カメラ

・使用を避けたい隠語

いちゃもんをつける 落としまえ ガサ入れ ガンをつける（とばす） 狂言強

盗 けつをまくる サツ シマ スケバン ずらかる タタキ たれ込

み チャリンコ デカ ぱくる ホシ ブタ箱 ムショ ヤク やば

い

・ジェンダー平等

うぐいす嬢 → 場内アナウンス係、車上運動員

女史 → ○○さん

女優 → 俳優 ※「往年の大女優」など言い換えがきかない場合は「女優」を使う

婦警、婦人警官 → 女性警官

婦女子 → 女性と子ども、女性

未亡人、後家 → 夫を亡くした女性（注）「故○○さんの妻」のように具体的に書く
めかけ、二号、情婦、愛妾 … 使用不適切

・女性や男性をことさらに強調、特別扱いする不適切表現

いかず後家 売れ残り オールドミス 男なら泣くな 男勝り 女だてらに
女の浅知恵 女の腐ったような 女(男)のくせに 女の戦い 女は愛嬌男は度
胸 才媛 才女 才色兼備 職場の花 女傑 女丈夫 処女航海 処
女作品 出戻り 内助の功 夫唱婦随 女々しい

・気をつけなければならない表現

おかま、おなべ … 使用不適切

オネエ … 使用不適切

性転換 → 性別の変更

性転換手術 → 性別適合手術

ホモ → ホモセクシュアル、同性愛(者)

両刀遣い … 使用不適切

レズ → レズビアン、女性の同性愛者

付 録 2

◆登録商標の言い換え

あ行

- 味の素 → うま味調味料
- アロンアルファ → 瞬間接着剤
- 糸ようじ → 糸式ようじ、デンタルフロス
- ウイークリーマンション → 短期賃貸マンション
- ウォークマン → 携帯音楽プレーヤー
- ウォシュレット → 温水洗浄便座
- 写ルンです → レンズ付きフィルム、使い切りカメラ
- うどんすき … 使用可
- えびせん … 使用可
- エレクトーン → 電子オルガン
- オービス → 速度違反取り締まり装置
- オーロラビジョン → 大型スクリーン
- オキシフル → オキシドール

か行

- カッター（シャツ） → ワイシャツ
- カップヌードル → カップ麺
- 亀の子だわし → たわし
- カラーコーン → コーン標識、パイロン
- カルピス → 乳酸飲料
- キャタピラー → 無限軌道、走行用ベルト
- クッキングホイル → アルミホイル
- クリープ → インスタントクリーム、粉末クリーム
- クリーンヒーター → 温風ヒーター
- クレラップ → ラップ
- 形状記憶シャツ → 形態安定シャツ
- コカ・コーラ → コーラ飲料、清涼飲料水

さ行

- サランラップ → ラップ
- シーチキン → ツナ缶
- ジープ → ジープ型自動車、小型四輪駆動車
- シッカロール → 汗止めパウダー

ジッパー … 使用可
ジャグジー → ジェットバス、気泡風呂
シャチハタ → スタンプ型印鑑
シャワートイレ → 温水洗浄便座
少林寺拳法 → 中国武術、少林武術 ※日本発祥の派は除く
信州味噌 → 信州のみそ
スノーモビル → スノーモービル、小型雪上車
セスナ → 軽飛行機
セメダイン → 接着剤
ゼロックス → 複写機
セロテープ → セロハンテープ

た行

ダスキン → 化学雑巾
宅急便 → 宅配便
タッパー → (プラスチックの) 食品保存容器
タバスコ → ペPPERソース
弾丸ツアー → 弾丸旅行
チキンラーメン → 即席ラーメン
着メロ → 着信メロディー
チャッカマン → (使い切り) 多目的ライター
チャック … 使用可
デジカメ … 使用可
テトラポッド → 消波ブロック
テフロン → フッ素樹脂 (加工)
電気ブラン → リキュール
トランポリン → 跳躍器具 ※競技・運動名としては使用可
トリックアート → だまし絵、目の錯覚を利用した作品

な行

ナップザック … 使用可

は行

バスクリン → 浴用剤
ハモンドオルガン → 電子オルガン
パラゾール → 防虫剤
ハルシオン → 睡眠導入剤
パンタロン … 使用可
バンドエイド → ガーゼ付きばんそうこう

ヒロポン → 覚醒剤
ファミコン → (家庭用) テレビゲーム機
ファンタ → 清涼飲料
ブイシネマ、Vシネマ → ビデオ専用映画
ブッシュクリーナー … 使用可
プラモデル … 使用可
フラワーデザイナー → 生花デザイナー
プリクラ → 写真シール (作製機)
フリスビー → フライングディスク
ぺんてる → フェルトペン
ホーバークラフト … 使用可
ポカリスエット → スポーツドリンク
ホカロン → 使い切りカイロ
ポラロイド (カメラ) → インスタントカメラ・写真
ポリタンク … 使用可
ポリバケツ → プラスチックのバケツ
ポリバス … 使用可
ほんだし → 風味調味料
ボンド … 使用可

ま行

マジック (インキ、ペン) → フェルトペン
マジックテープ → 面ファスナー
万歩メーター、万歩計 → 歩数計、歩数メータ
ムース → 泡状整髪剤
メロディオソ → 鍵盤ハーモニカ

や行

ヤクルト → 乳酸菌飲料
UFO キャッチャー → クレーンゲーム機
ユンボ → ショベルカー、パワーショベル

ら行

ラジコン → 無線操縦 (装置)
ランドクルーザー (ランクル) → オフロード型四輪駆動車
リバノール … 使用可
ルービックキューブ → 六面立体パズル
ループタイ → つけネクタイ ※ひも状ネクタイとは別個の商品名。ひも状ネクタイの呼称には「ひもタイ」「ロープタイ」を使う

ルゴール液 … 使用可

レーザーディスク … 使用可

レゴ → (プラスチック製) ブロック玩具

ロボットスーツ → パワードスーツ、パワーアシストスーツ ※マッスルスーツも登録
商標

わ行

ワンカップ → カップ酒

付 録 3

◆外来語の書き方

- ・原綴の音と大きく異なる表記が固定化したもの

〔例〕 coffee → コーヒー studio → スタジオ handkerchief → ハンカチ radio
→ ラジオ

- ・新たに定着の傾向にあるもの

〔例〕 アイデンティティー エクササイズ

- ・和製英語

〔例〕 アフターサービス ナイター ペースアップ

- ・外来語の短縮形で固定化、定着化したもの

〔例〕 パソコン インフレ アプリ スマホ

- ・外国語起源でも古くから使われているものは、平仮名で表記する

〔例〕 たばこ かるた

- ・原則として「キ、エ、ヲ、ヂ、ヅ」は使わない

〔例〕 ウイスキー オデオン

〔例外〕 チヂミ

- ・原則「ヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォ、ヴェュ」は「バ、ビ、ブ、ベ、ボ、ビュ」で表記する

〔例〕 ウェーブ ダイビング デリバリー バイオリン ベール ボーカル レビュー

- ・撥音「ン」は、原音ではっきりしているもの以外は省略する

〔例〕 コミュニケ サマータイム

〔例外〕 チャンネル ハンマー

- ・促音「ッ」は、原音ではっきりしているもの以外は省略する

〔例〕 スパゲティ ファクス ルクス ルネサンス

〔例外〕 アットホーム ルックス

- ・長音は、長音符号「ー」で表し、母音を重ねたり「ウ」を用いない

〔例〕 アーティスト（×アアーティスト） インストール（×インストゥール）

- ・二重母音の「エイ、オウ」は①長音での慣用が固定している語は長音符号「ー」で表す②母音で表記するのが一般的な語は「エイ、オウ」と表記する

① 〔例〕 オーナー クラスメート メーデー レーン（車線）

② 〔例〕 アンチエイジング デイサービス ノウハウ メイン

〔例外〕 ステンレス

- ・原綴の -er, -or, -ar などは、原則として、長音符号「ー」で表記する

〔例〕 オブザーバー レギュラー

〔例外〕 エンジニア ギア ジュニア

- ・原綴の -y は原則として、長音符号「ー」で表記する
〔例〕 アクセサリー レポートリー
〔例外〕 サンクチュアリ
- ・イ列、エ列の音の次の「ア」は「ヤ」とは表記せず「ア」と表記する
〔例〕 アカシア ウエア カナリア スペア リタイア
〔例外〕 カシミヤ タイヤ ロイヤルティー
- ・原音で「シェ、ジェ」の音は、慣用を除き「シェ、ジェ」と表記する
〔例〕 エージェント オブジェ ジェネレーション ジェントルマン
〔例外〕 エンゼル ゼネラル ゼリー
- ・原音で「テイ、デイ、テュ、デュ」の音は、慣用を除き「テイ、デイ、テュ、デュ」と表記する
〔例〕 オーソリティー コンディション パーティー プロデューサー
〔例外〕 コスチューム ジレンマ チューブ デジタル モチーフ
- ・原音で「フュ」の音は、慣用を除き「フュ」と表記する
〔例〕 フューチャー
〔例外〕 ヒューズ
- ・原音で「トゥ、ドゥ」の音は、「ト、ド」または「ツ、ズ」と表記する
〔例〕 ツーリスト ドライバー トレーナー トロフィー ヒンズー教
〔例外〕 タトゥー
- ・原音で「ウイ、ウエ、ウオ」の音は、①慣用が固定しているものは「ウイ、ウエ、ウオ」
②原音に近く表記する場合は「ウイ、ウエ、ウオ」と表記する
① 〔例〕 ウィット ウィンドー ウォーター ウォッチ ハイウエー
② 〔例〕 アウエー ウィンウィン ウェブ
〔例外〕 サンドイッチ スイッチ スイング スエット
- ・原音で「クア、クイ、クエ、クオ」の音は、「カ、キ、ケ、コ」または「クア、クイ、クエ、クオ」と表記する
〔例〕 イコール クイーン クォーター スクエア
〔例外〕 クォーク
- ・原綴語尾の -um は、「ウム」と表記する、特に元素名はすべて「ウム」とする
〔例〕 シンポジウム バリウム プルトニウム アルミニウム ラジウム
〔例外〕 スタジアム プレミアム モラトリアム
- ・原綴語尾が -ture の語は、原則として「チャー」と表記する
〔例〕 カルチャー ジェスチャー フィーチャー
〔例外〕 カリカチュア ミニチュア
- ・2語からなる複合語には、原則として語間に「・」をつけない
〔例〕 ウォーミングアップ セクシュアルハラスメント

〔例外〕 シンガー・ソングライター チマ・チョコリ

・ 3語以上からなる複合語には、原則として語間に「・」つける

〔例〕 ギブ・アンド・テイク ケース・バイ・ケース

〔例外〕 アップトゥーデート

・ 片仮名の地名・人名の固有名詞と一般外来語とが複合する語は、その間に「・」を入れて
区別をつける、ただし固有名詞の意識が薄れている場合はこの限りではない

〔例〕 ノーモア・ヒロシマ メード・イン・ジャパン

〔例外〕 ディーゼルエンジン パリクラブ

・ 中国、台湾の地名、人名とも漢字で表記することを原則とする

〔例〕 北京 広州 鄧小平 習近平 台北 賴清徳

・ 韓国・北朝鮮の地名、人名とも漢字で表記することを原則とする

※国名の「大韓民国」は「韓国」、「朝鮮民主主義人民共和国」は「北朝鮮」と略記する

〔例〕 平壤 板門店 釜山 金大中 金正日

〔注〕「京城」は「ソウル」と表記する

・ 頻出外来語（カタカナ語）の表記

統一表記		使用不可	統一表記		使用不可
アイデア	×	アイディア	アンチテーゼ	×	アンチ・テーゼ
イニシアチブ	×	イニシャチブ	インセンティブ	×	インセンチブ
インフラ	×	インフラストラクチャー	インフレ	×	インフレーション
ウインウイン	×	ウインウイン	エコ	○	エコロジー
オーダーメイド	×	オーダーメイド	キャスティングポート	×	キャスティングポート
グラウンド	×	グラント	クローズアップ	×	クローズ・アップ
ケアマネジャー	×	ケアマネージャー	コラボレーション	×	コラボ
コンピューター	×	コンピュータ	シーリング	注	〔概算要求基準〕付ける
シェイプアップ	×	シェーブアップ	システムチック	×	システムティック
シミュレーション	×	シュミレーション	スクラップ・アンド・ビルド	×	スクラップアンドビルド
スモッグ	注	スモックは服	ソフトウエア	×	ソフトウエア
タックスヘイブン	注	〔租税回避地〕付ける	タッチ・アンド・ゴー	×	アッチアンドゴー
チューンアップ	×	チューンナップ	ディサービス	×	ディサービス
データ	×	データー	デフレ	×	デフレーション
ノウハウ	×	ノーハウ	パネリスト	×	パネラー
バリアフリー	×	バリアフリー	パンデミック	○	世界的大流行
マスタープラン	○	基本計画	モラル〔士気〕	注	モラル〔道徳〕
ランサムウェア	×	ランサムウェア			

付 録 4

◆参 考

都道府県名に用いる漢字で常用漢字表になかった 11 字と近畿の「畿」・韓国の「韓」の 2 字が常用漢字になった。

字種	音訓	専用	表内	表外
茨	いばら	都道府県名専用	茨城県 のみ	茨の道、茨姫 など
媛	エン	一般使用可	愛媛県 のみ 才媛 など	媛（ひめ）
岡	おか	都道府県名専用	岡山県、静岡県、福岡県 のみ	岡っ引き、岡持ち、岡目八目 など
韓	カン	地名専用	韓国 など	
畿	キ	地名専用	畿内、近畿 など	
熊	くま	一般使用可	熊本県、熊、白熊 など	
埼	さい	都道府県名専用	埼玉県 のみ	
鹿	か・しか	一般使用可	鹿児島県、鹿の子、鹿 など	
栃	とち	都道府県名専用	栃木県 のみ	栃の木、栃餅 など
奈	ナ	一般使用可	奈良県、奈落 など	
梨	なし	一般使用可	山梨県、梨、洋梨 など	
阪	ハン	地名専用	阪神、京阪 など 大阪府 のみ	阪路 など 阪（さか）
阜	フ	都道府県名専用	岐阜県 のみ	陰阜 など

付 録 5

〔間違いやすい表現〕

- (誤) 愛想を振りまく → (正) 愛嬌を振りまく、愛想がいい
- (誤) 合いの手を打つ → (正) 合いの手を入れる
- (誤) 明るみになる → (正) 明るみになる、明らかになる
- (誤) 悪評さくさく → (正) 悪評高い ※「さくさく」は褒めそやすさま「名声さくさく、好評さくさく」など
- (誤) 足蹴りにする → (正) 足蹴(あしげ)にする
- (誤) 足元をすくう → (正) 足をすくう
- (誤) 頭ごなしの外交 → (正) 頭越しの外交
- (誤) 頭をかしげる → (正) 首をかしげる、頭をひねる
- (台風の) 当たり年 → (正) 多い年 ※「当たり年」は収穫や利益の多い年、転じて縁起の良い年
- (誤) 雨脚が途絶える → (正) 雨がやむ
- (誤) あわや世界新 → (正) あと一步で世界新 ※「あわや」は何か良くないことが危うく起きそうな状態
- (誤) 怒り心頭に達した → (正) 怒り心頭に発した
- (誤) 石つぶて → (正) つぶて(投げられた小石の意) 「紙つぶて」は可
- (誤) 異存は出なかった → (正) 異議は出なかった、異存はなかった
- (誤) 一同に会する → (正) 一堂に会する
- (誤) 一抹の望み → (正) いちるの望み、一抹の不安
- (誤) 一生一代 → (正) 一世一代
- (誤) 嫌気がする → (正) 嫌気が差す、嫌気を起こす
- (誤) 上や下への大騒ぎ → (正) 上を下への大騒ぎ
- (誤) 受けに入る → (正) 有卦(うけ)に入る ※巡り合わせがよく幸運が続く意
- (誤) 薄皮を剥ぐように → (正) 薄紙を剥ぐように ※(病気が) わずかずつ良くなることのたとえ
- (誤) 裏舞台での交渉 → (正) 舞台裏での交渉
- (誤) 恨み骨髓に達す → (正) 恨み骨髓に徹す
- (誤) 上前をかすめる → (正) 上前をはねる
- (誤) 笑顔がこぼれる → (正) 笑みがこぼれる
- (誤) 屋上屋を重ねる → (正) 屋上屋(おく)を架する ※無駄なことを重ねてすることのたとえ

- (誤) 押しも押されぬ → (正) 押しも押されもせぬ、押すに押されぬ
- (誤) 汚名挽回 → (正) 汚名返上、名誉挽回
- (誤) 汚名を晴らす → (正) 汚名をすすぐ・そそぐ
- (誤) 重石を付けて沈める → (正) 重りを付けて沈める
- (誤) 女手(男手)一人で育て上げる → (正) 女手(男手)一つで育て上げる
- (誤) 垣間見せる → (正) のぞかせる、うかがわせる
- (誤) (酒樽の)鏡割り → (正) 鏡開き ※「鏡割り」は忌み言葉
- (誤) 風下にも置けぬ → (正) 風上にも置けぬ
- (誤) 喝采を叫ぶ → (正) 喝采を送る、快哉(かいさい)を叫ぶ
- (誤) 喝を入れる → (正) 一喝する、喝を食らわす
- (誤) カトリックの牧師 → (正) カトリックの神父 ※牧師はプロテスタントの聖職者
- (誤) 過半数を超える → (正) 半数を超える、過半数を占める、過半数に達する
- (誤) 髪を丸める → (正) 頭を丸める
- (誤) 間一発 → (正) 間一髪
- (誤) 間髪を置かず → (正) 間髪を入れず、時を置かず
- (誤) キジも飛ばずば撃たれまい → (正) キジも鳴かずば撃たれまい ※無用の発言をし
たばかりに災難を招くことのたとえ
- (誤) 疑心暗鬼を抱く → (正) 疑心暗鬼を生じる、疑心暗鬼になる
- (誤) 期待倒れ → (正) 期待外れ
- (誤) 肝に据えかねる → (正) 腹に据えかねる
- (誤) 櫛の歯が抜けるように → (正) 櫛の歯が欠けるように
- (誤) 口車を合わせる → (正) 口裏を合わせる、口車に乗る・乗せる
- (誤) 口先三寸 → (正) 舌先三寸
- (誤) 口をつむる → (正) 口をつぐむ
- (誤) 国敗れて山河あり → (正) 国破れて山河あり ※有為転変を嘆く感慨の文句
- (誤) 苦杯にまみれる → (正) 苦杯をなめる・喫する、一敗地にまみれる
- (誤) クモをちらすように → (正) クモの子を散らすように
- (誤) 煙に巻く → (正) けむに巻く
- (誤) けんけんがくがく → (正) かんかんがくがく、けんけんごうごう ※「けんけんごうごう(口やかましく騒ぎ立てるさま)」と「かんかんがくがく(正論を吐いて屈しないさま)」との混用
- (誤) 剣もほろほろ → (正) けんもほろろ
- (誤) 公算が強い・高い → (正) 公算が大きい
- (誤) 交通止め → (正) 通行止め
- (誤) 古式豊かに → (正) 古式ゆかしく
- (誤) 後手を踏む → (正) 後手に回る

- (誤) 古来から → (正) 古来
- (誤) 碁を指す → (正) 碁を打つ
- (誤) 酒を飲み交わす → (正) 酒を酌み交わす、盃(杯)を交わす
- (誤) Gパン → (正) ジーパン
- (誤) 時機(時期)を得た → (正) 時宜を得た ※時がちょうどよいこと
- (誤) 寺社仏閣 → (正) 神社仏閣、寺社
- (誤) 至上命題 → (正) 至上命令、最重要課題 ※絶対に従わなければならない命令や任務は「至上命令、重大使命」、どうしても達成しなければならない課題は「最重要課題」
- (誤) 射程距離に入る → (正) 射程(圏)内に入る
- (誤) 珠玉の大作 → (正) 大作 ※「珠玉」は長編や大きな作品には使わない
- (誤) 出血死 → (正) 失血死
- (誤) 将棋を打つ → (正) 将棋を指す
- (誤) 照準を当てる → (正) 照準を合わせる・定める
- (誤) 食指をそそる → (正) 食指が動く、食欲をそそる
- (誤) 知らなさすぎる → (正) 知らなさすぎる
- (誤) 白羽の矢を当てる → (正) 白羽の矢を立てる
- (誤) 素人はだし → (正) 素人離れ、玄人はだし
- (誤) 死んで花見がなるものか → (正) 死んで花実が咲く(なる)ものか ※死んでしまえばすべて終わりで、生きていてこそ良いこともある
- (誤) 酸いも辛いもかみ分ける → (正) 酸いも甘いもかみ分ける
- (誤) 姿をくらませた → (正) 姿をくらました
- (誤) 寸暇を惜しまず働く → (正) 寸暇を惜しんで働く、骨身を惜しまず働く
- (誤) 成功裏のうちに → (正) 成功裏に
- (誤) 製薬メーカー → (正) 製薬会社、薬品メーカー
- (誤) ゼッケン番号(ナンバー) → (正) ゼッケン
- (誤) 雪辱を晴らす → (正) 雪辱する、雪辱を果たす、屈辱を晴らす
- (誤) 背中が寒くなる → (正) 背筋が寒くなる
- (誤) 前者の轍を踏む → (正) 前車の轍を踏む
- (誤) 前門のオオカミ、後門のトラ → (正) 前門のトラ、後門のオオカミ
- (誤) 前夜来の雨 → (正) 夜来の雨、前夜からの雨
- (誤) 袖すり(振り、触れ)合うも多少の縁 → (正) 袖すり(振り、触れ)合うも多生の縁・他生の縁
- (誤) 第一日目 → (正) 第一日、一日目
- (誤) 多寡をくくる → (正) 高をくくる
- (誤) 縦穴式住居 → (正) 竪穴式住居
- (誤) 縦穴式石室 → (正) 竪穴式石室

- (誤) (旗が) たなびく → (正) はためく、翻る、なびく
- (誤) 駐日〇〇大使館 → (正) 在日〇〇大使館
- (誤) 積み残し客 → (正) 乗り切れない客
- (誤) デッドロックに乗り上げる → (正) 行き詰まる、暗礁に乗り上げる ※「デッドロック」は行き詰まるの意。Lock (錠) と rock (岩) との混同
- (誤) 出る釘は打たれる → (正) 出る杭は打たれる
- (誤) (盗品を) 転売した疑い → (正) 売った疑い、売却した疑い ※「転売」は買ったものを売ること
- (誤) 天罰が当たる → (正) 天罰が下る
- (誤) 取りつく暇もない → (正) 取りつく島もない
- (誤) 成さぬ仲 → なさぬ仲 ※義理の親子関係の意
- (誤) 苦虫をかんだような → (正) 苦虫をかみつぶしたような
- (誤) 二の句が出ない → (正) 二の句が継げない
- (誤) 二の舞いを繰り返す → (正) 二の舞いを演じる、二の舞いになる
- (誤) 濡れ手で泡 → (正) 濡れ手で粟
- (誤) 熱にうなされる → (正) 熱に浮かされる、夢にうなされる
- (誤) 眠気まなこで → (正) 寝ぼけ眼で
- (誤) 念頭に入れる → (正) 念頭に置く
- (誤) 排気ガス → (正) 排ガス、排出ガス
- (誤) 敗戦の将、兵を語らず → (正) 敗軍の将、兵を語らず
- (誤) (…と) 吐き捨てた → (正) 吐き捨てるように言った
- (誤) 働かずくめ → (正) 働きづめ
- (誤) (がんが) 発覚 → (正) 見つかる ※「発覚」は悪事などが明らかになる
- (誤) 鼻にもかけない → (正) 歯牙にもかけない、はな (涙) も引っかけない
- (誤) 歯に絹着せぬ → (正) 歯に衣 (きぬ) 着せぬ
- (誤) 腹が煮えくり返る → (正) はらわたが煮えくり返る
- (誤) 被害を被る → (正) 被害に遭う、損害を受ける
- (誤) 人質を釈放 → (正) 人質を解放
- (誤) ひと段落 → (正) 一 (いち) 段落
- (誤) 一つ返事で引き受ける → (正) 二つ返事で引き受ける
- (誤) 人を借り (狩り) 集める → (正) 人を駆り集める ※急いで集める意
- (誤) 火ぶたを切って落とす → (正) 火ぶたを切る ※「幕を切って落とす」との混用
- (誤) 日を夜に継いで → (正) 夜を日に継いで、日に夜を継いで
- (誤) 貧すれば通ず → (正) 窮すれば通ず (困窮して行きつくところまで行くと案外何とかなる意)、貧すれば鈍する (貧乏すると心までも卑しく、才覚に乏しくなる)
- (誤) 不測の事態を予想して → (正) 万一の事態に備えて

- (誤) 符丁を合わせたように → (正) 符節を合わせたように ※中央に証印を押して二つに割った札を合わせたようなさま
- (誤) 物議を呼ぶ → (正) 物議をかもす
- (誤) (バレエの) プリマドンナ → (正) プリマバレリーナ ※「プリマドンナ」はオペラの女性主役
- (誤) 下手な考え休むに似たり → (正) 下手の考え休むに似たり ※知恵のない人が考えるのは時間をむだにするだけでなんの役にもたたない
- (誤) (国会で) 法案が成立 → (正) 法が成立
- (誤) 凡ヘッド → (正) ボーンヘッド
- (誤) まだ未解決 → (正) 未解決、まだ解決していない
- (誤) 的を得た指摘 → (正) 的を射た指摘、当を得た指摘
- (誤) まなじりをつり上げる → (正) まなじりを決する ※怒りや決意を表わす表情
- (誤) 眉をしかめる → (正) 眉をひそめる、顔をしかめる
- (誤) 満天の星空 → (正) 満天の星
- (誤) 満面に笑顔 → (正) 満面に笑み
- (誤) 見かけ倒れ → (正) 見かけ倒し
- (誤) 水かさが高くなった川 → (正) 水かさが増した川、水位が高くなった川
- (誤) 三日とあけず芝居見物 → (正) 三日に上げず芝居見物 ※三日とたたないうち
- (誤) 無実を晴らす → (正) 無実の罪を晴らす、無実を証す
- (誤) 無尽蔵に使う → (正) 際限なく使う ※「無尽蔵」はいくら取っても尽きないとの意
- (誤) 胸先三寸に納める → (正) 胸三寸に納める
- (誤) 目をひそめる → (正) 眉をひそめる
- (誤) (著作を) 物にする → (正) (著作を) 物する ※「物する」はあることをする(特に文章、詩などを書く、作る)の意
- (誤) やおら飛び出す → (正) 急に飛び出す ※「やおら」は「おもむろに、静かに」の意
- (誤) 矢折れ刀尽きる → (正) 刀(弓)折れ矢尽きる、矢尽き刀折れる
- (誤) 約10分ほど → (正) 約10分、10分ほど
- (誤) (～した) 矢先 → (正) (～する、～しようとする、しようとした) 矢先
※「矢先」は事が始まろうとする直前の意
- (誤) 弓矢を引く → (正) 弓を引く
- (誤) 善きにつけ悪きにつけ → (正) 善きにつけあしきにつけ
- (誤) 余分なぜい肉 → (正) 余分な肉
- (誤) 寄る年には勝てぬ → (正) 寄る年波には勝てぬ
- (誤) 弱気を吐く → (正) 弱音を吐く

- (誤) 李下に冠を正す → (正) 李下に冠を正さず
 (誤) 離発着 → (正) 離着陸、発着
 (誤) 溜飲を晴らす → (正) 溜飲を下げる
 (誤) 連綿と地位にしがみつくと → (正) 恋々と地位にしがみつくと ※「連綿」は途切れな
 いさま、「恋々」は未練がましいさま
 (誤) 老体にむち打つ → (正) 老骨にむち打つ
 (誤) 論議を醸(かも)す → (正) 物議を醸す、論議を呼ぶ
 (誤) 論戦を張る → (正) 論陣を張る、論戦を挑む
 (誤) 論を待たない → (正) 論をまたない
 (誤) Yシャツ → (正) ワイシャツ ※「ワイシャツ」は「ホワイトシャツ」の略
 (誤) わだちの跡 → (正) 車輪の跡、わだち

〔用法注意の表現〕

- 青田買い 稲が実る前に収穫を見越して買上げ予約することから転じて、会社などが卒業のはるか前に学生の採用を決めること ※肥料・飼料用に作物を未成熟のうちに刈り取るのは「青刈り、青田刈り」
 潔しとする 「潔しとしない」の誤用
 諫める(いさめる) 「諫める」は目下の者が目上に忠告すること
 一姫二太郎 子育ては初めが女で二番目が男が理想的という意 ※女一人に男二人ということではない
 後ろ倒し できるだけ「先送りする、遅らせる」などに言い換える
 おもむろに立ち上がる 「おもむろに」は落ち着いて動くこと ※「急いで、不意に」の意味で使うのは誤り
 気が置けない人 遠慮・気兼ねのいらぬ人の意 ※油断できない、気が許せないの意味で使うのは誤り
 暮れなずむ 日が暮れそうでなかなか暮れない状態 ※「ようやく暮れなずんできた」などは誤り
 呉越同舟 敵同士、仲の悪い者同士がたまたま同じ場所に居合わせる場合に使う ※単に異質の者が一緒になる場合には使わない
 ～さ(円熟さ、積極さ など) 接尾語の「さ」は形容詞、形容動詞の五感について名詞をつくる ※「円熟」「積極」に付くのは誤り「円熟味」「積極性」などとする
 里帰り ※美術品などが一時的に戻るときには「里帰り」を使えるが、永久返還などの場合は不適當
 さわり 音楽の聞かせどころ、劇や小説などの見せ場、中心、最も興味を引く部分の意

※出だし、最初の部分の意で使うのは誤り

ざんきに堪えない 自分の行為を恥じること。 ※他者の行為について使うのは誤り

敷居が高い 本来は、不義理をしたり面目ないことがあったりして、その人の家に行きにくいこと ※俗用として、高級・上品過ぎて手を出しにくい、ハードルが高いの意味で使われることがある

私淑 面識のない人を著作などを通じて師と仰ぐこと ※直接指導を受けた人に使うのは誤り

(パンダが) 死亡 人間の場合に使う語 ※動物には使わない

順延 順繰りに日を延ばすこと ※二日以上伸ばす場合は使わず「延期」などとする

準備万端 「万端」は全ての事柄 「整う」の意味はないため「準備万端」だけでは意味をなさない ※「準備万端整う」や「準備万全」などにするのが望ましい

住めば都 住み慣れれば、どんな土地でも住み心地が良くなるの意 ※住むなら都会の意味に使うのは誤り

寸断 「寸断」はずたずたに断ち切ること ※土砂崩れなどで1か所だけ道路が通行止めになっているようなケースにはふさわしくない

世間擦れ 実社会でもまれて悪賢くなっているという意 ※世の中の考えから外れていることではない

大寒の入り 大寒(1月20日ころ)は二十四節気の一つで一日だけをいう ※「大寒の入り」は使わない。「寒の入り(小寒=1月6日ころ)」は使ってよい。「寒中」は小寒から節分(立春の前)までをいう

帯同 連れていくこと ※「付いていくこと」と混同されやすい。できる限り「同行」に言い換える。「遠征に帯同させる」よりも「遠征に同行させる」のほうが望ましい

他山の石 他人のつまらない言行でも、自分の知徳を磨くための参考にするという意 ※他人の立派な言行を良い手本にする意味では使わない

他力本願 浄土門で阿弥陀仏の本願によって救済されるの意 ※比喻の、他の力を当てにする意味では使わない

追撃 敗走する・劣勢にある敵を追いかけてさらに攻めることが本来の意 ※逃げる・先行する相手を追い上げる場合は「猛追、追い上げ」などとする

つとに 「以前から、早くから」の意 ※「特に、非常に」の意味に使うのは誤り (AはBの) 敵ではない Bが強過ぎ、Aが弱過ぎるの意 ※逆の意味で使うのは誤り

同級生 同じクラスの場合のみに使う ※クラスが違う場合は「同学年」とする

鳥肌が立つ 恐ろしさや寒さのために皮膚がざらつく状態を指すのが本来の意 ※感動・興奮の表現として用いられるようになってきたが、使用は慎重にする

情けは人のためならず 善いことをすればよい報いがあるという意 ※情けはその人のためにならないといった解釈は誤り

名前負け 名前が立派過ぎて実物が見劣りする意 ※相手の名前に圧倒される意味

で使うのは誤り

煮詰まる 議論や意見が出尽くして結論を出す段階になること ※行き詰まるという
意味ではない

破天荒 これまでなし得なかったことをすることで、未曾有と同義。近年意味が拡大し、
豪快で大胆な人の様子を表す場合にも使われる

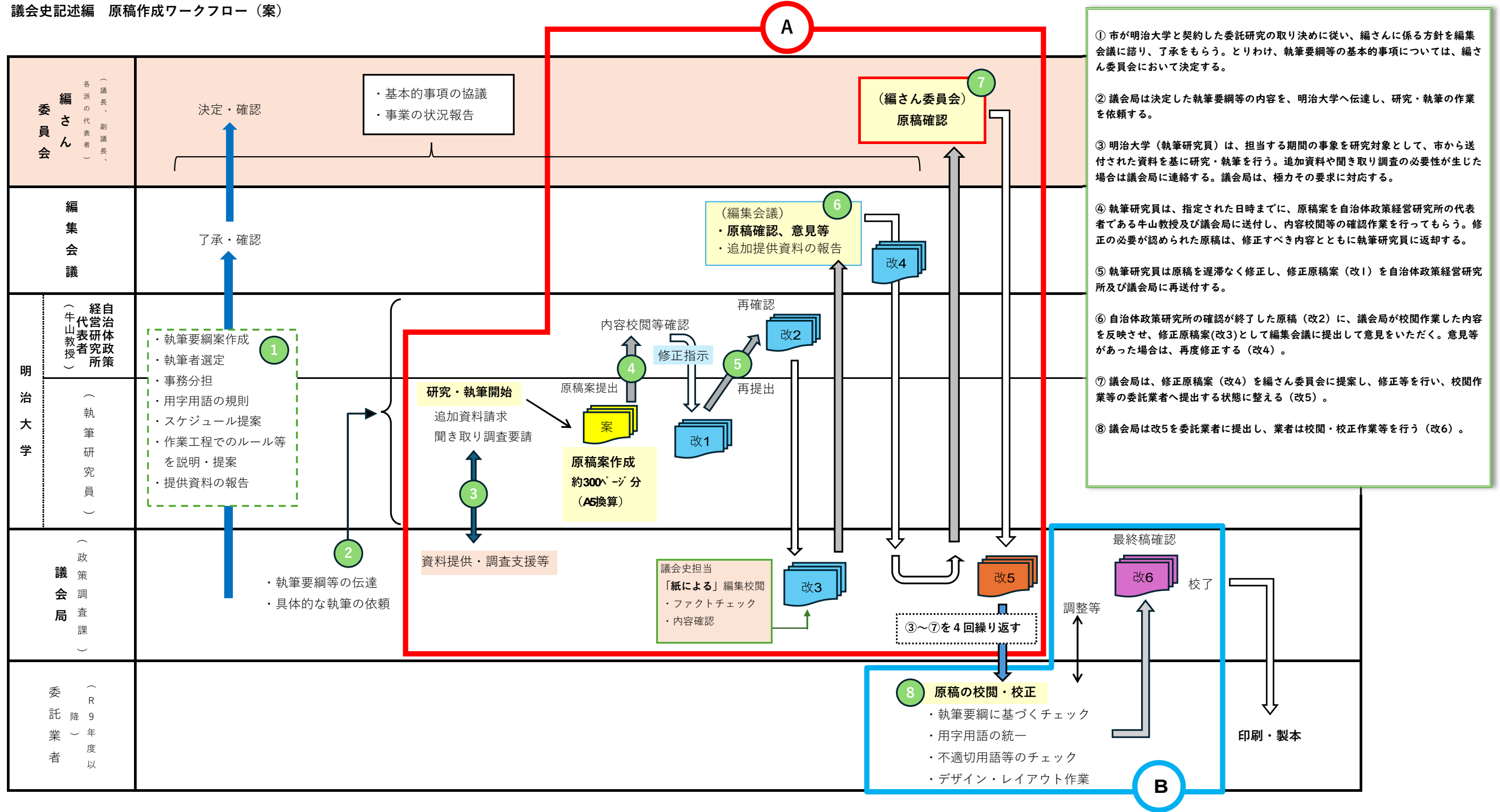
はなむけ 卒業や旅立ちなど送別の際に贈る言葉や金品 ※「社長が新入社員にはな
むけのあいさつ」「亡き父へはなむけのホームラン」などは誤り

ふりの客 なじみがない客のこと。いちげんなどの意。

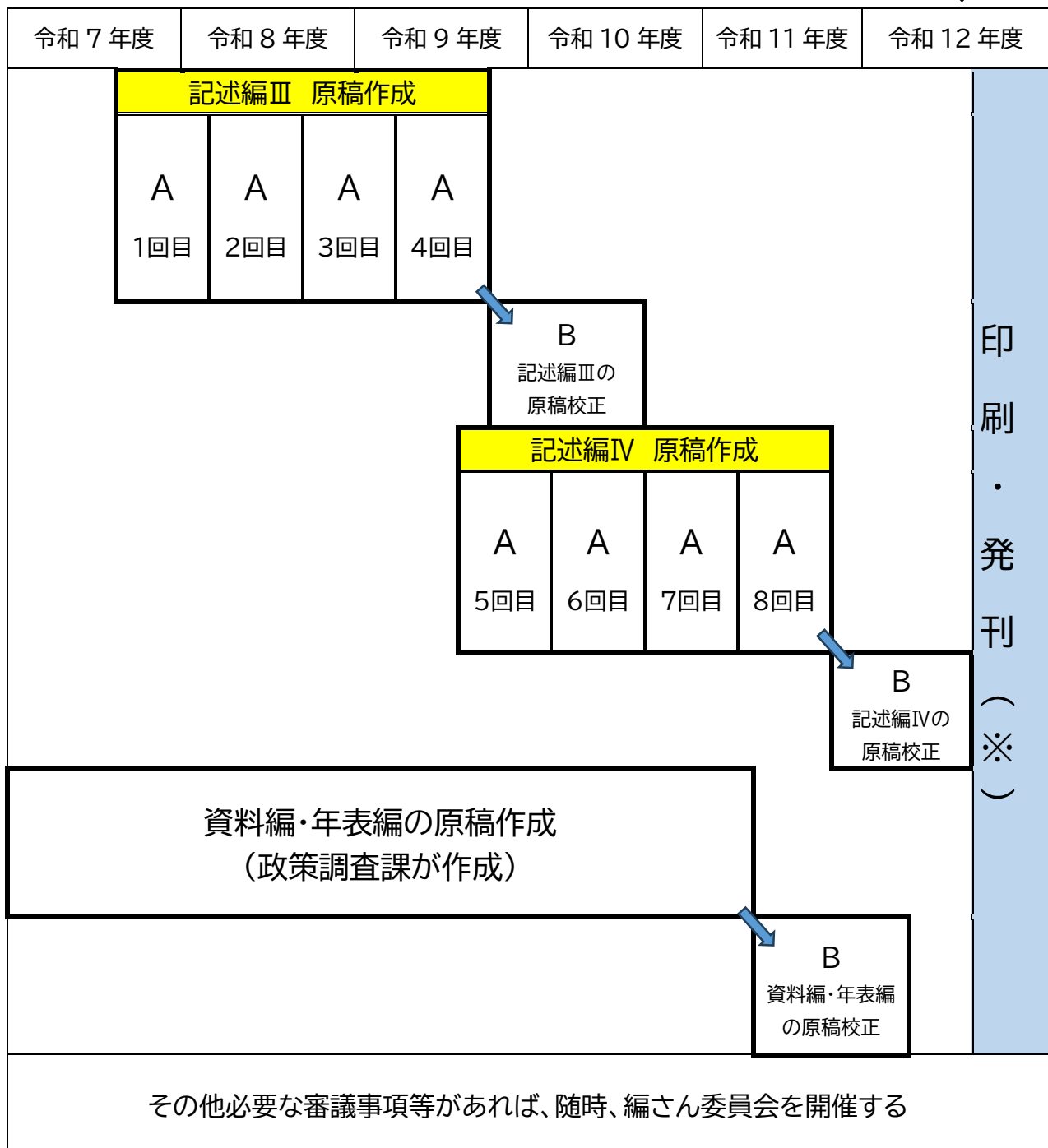
役不足 本来、役者が自分の役を不足として不満を言う意 ※「荷が重い、大役過ぎる、
力不足」などの意味に使うのは誤り

以上

議会史記述編 原稿作成ワークフロー（案）



編さん事業のスケジュール(予定)

R12.4.1
指定都市移行
から20年

※ 「印刷・発刊」の詳細は、今後の検討事項

A…資料 3-1 の③～⑦の工程

B…資料 3-1 の⑧の工程

記述編1冊にあたり A を4回繰り返し、B を1回行う想定。

⇒編さん委員会での原稿の内容確認は1冊分まとめてではなく、4回に分割して行う。

相模原市議会史編集会議委員名簿(R8年度以降)

(敬称略、50音順)

	氏名	所属等	更新する 任期	委嘱の 状況
1	うしやま く に ひこ 牛山 久仁彦	明治大学 政治経済学部 教授	R8.4.1~ R10.3.31	R7.2.6~ R8.3.31
2	えとう としあき 江藤 俊昭	大正大学 地域創生学部 教授	R8.4.1~ R10.3.31	R7.2.6~ R8.3.31
3	おく まみ 奥 真美	東京都立大学 都市環境学部 教授	R8.4.1~ R10.3.31	R7.2.6~ R8.3.31
4	すみこうち つかさ 隅河内 司	田園調布学園大学 人間福祉学部 教授	R8.4.1~ R10.3.31	R7.2.6~ R8.3.31
5	まえだ しげとう 前田 成東	東海大学 政治経済学部 教授	R8.4.1~ R10.3.31	R7.2.6~ R8.3.31